

(平成30年度単年度経営計画)

(公財)京都市森林文化協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

基本事項

所管局課	産業観光局農林振興室林業振興課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	令和2年度
-----	-----	------	-------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	公益財団法人として掲げる森づくり事業や森林体験事業、地域資源を有効活用したイベント事業を強化し、公益目的事業をより一層推進する。さらに、これらの公益目的事業と一体的に、宿泊休養施設をはじめ、各収益施設を管理、運営することで、収益事業を活発化させる。
財務面	宿泊休養施設等の改修後の自己資金積立に必要な資金確保等を目指し、基本方針の業務面で示した公益目的事業及び収益目的事業の両事業における事業展開によって、増益を図る。
組織面	公益目的事業を専門的に担える人材を育成するとともに、各事業の運営状況に合わせて適切な職員配置を行う。
その他	

当年度の取組目標に対する意見

所管局	令和2年度に予定している自律化に向け、自律化手法の原案づくりを当年度中に行うとともに、施設等改修後に実施する自己資金積立に必要な資金の確保に向けた取組にもしっかり着手してほしい。
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------

当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

団体	7月の豪雨災害や9月の台風災害により主要道路が72日間通行止になるなどの影響で業務・財務面は計画どおり進まなかった。決算も大幅な赤字となり、今後一層の努力をし自己資金の確保に努めていく。
所管局	収益事業のうちイベント事業について、木育フェスティバルやもみじ祭りといった大人数が参加するイベントの開催により、イベント参加者数の増大を図れた。一方で、台風の被害によるキャンセルなどにより、宿泊及び野外施設の利用者数が伸び悩んだことから、天候に大きく左右されない収益事業を確立し、経営の安定に努めていただきたい。

(公財)京都市森林文化協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

本市のえん率引下げに向けた実施計画

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
中期経営計画における取組内容	自律化手法の原案策定	宿泊休養施設・案内休憩所修繕に伴う基本財産の取崩し	基本財産への自己出資による自律化
当年度目標	自律化手法を決定し、具体的な施設改修計画を策定するとともに、自律化に必要な資金の調達方法を検討する。		
当年度結果(※)	災害等の影響もあり、具体的な計画の策定に至らなかった。今後計画を早急に策定する。		

(1)業務に関する取組

目標1「山村都市交流の森利用者の拡大」

中期経営計画における取組	京都市北部山間地域の豊かな自然や山村文化を積極的に活用し、都市住民へ魅力を発信するとともに、開設から20年近くが経過した主要施設のリニューアルに取り組み、利用者のニーズに合致した施設の改修・再整備を行うことで、山村都市交流の森の利用者を拡大させる。
当年度目標	センターエリア施設の改修に取り組み、利用者の利便性向上を図るという目標に対し、当年度は案内休憩所の再整備に着手する。この事業により、案内休憩所を「京都丹波高原国定公園」をはじめとする周辺地域の自然に関する情報を提供するビジターセンターとしての機能と「木育」に関する理解を深める場としての機能を持った施設としてリニューアルを行う。また、案内休憩所近傍に駐車場を新設し、利用者の利便性を向上させる。 一方で、京都市の北部山間地域と山村都市交流の森の情報発信に努め、誘客活動による入園者の増加を目指す。
当年度結果(※)	豪雨や台風の影響で目標の達成には程遠い状況であった。次年度は目標を達成できるよう努力していく。

指標1	山村都市交流の森入園者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		35,000		38,000		40,000		41,000
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	36,000	35,962	38,000	35,006	—		—	

指標2	宿泊施設利用者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		13,000		9,500		10,000		11,000
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	9,000	9,068	9,500	9,491	—		—	

(平成30年度単年度経営計画)

(公財)京都市森林文化協会		平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
目標2「地域資源を生かしたイベント事業の強化」		
中期経営計画 における取組	「京都丹波高原国定公園」の指定、樹高日本一の「花背の三本杉」や高層湿原「八丁平」など、地域資源を生かしたトレッキング・自然観察会を中心としたイベント事業を積極的に展開する。	
当年度目標	交流の森センターエリアから「花背の三本杉」に向かう旧街道（清盛道）を復元し、新たなトレッキングイベントを展開する。 また、団体等の要望に応じた受託型イベントの企画・運営を行う。	
当年度結果 (※)	旧街道を利用したモニタートレッキングを2回開催し、概ね好評を得たので次年度より本格的な活動を目指す。 ・受託型イベントの開催 7回	

指標	イベント参加者数 (単位:人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		—		2,000		2,200		2,500
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
		2,955	2,000	4,429	—		—	

(2)財務に関する取組

主要財務数値 (単位:千円)							備考欄
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	予算	実績(※)	予算	実績	予算	実績	
経常収益	100,000	96,157					
経常費用	95,000	104,369					
当期経常増減額	5,000	△ 8,212					
当期正味財産増減額	3,000	△ 10,009					
資産合計	-	113,723					
負債合計	-	29,358					
正味財産	-	84,366					
うち累積損益額	-	34,365					

(平成30年度単年度経営計画)

(公財)京都市森林文化協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標「経営の自律化」	
中期経営計画 における取組	公益財団法人としての基準を満たしながら事業を充実させ、増益を図り、安定した経営を継続し、自律化に必要な資金を準備する。また、自律化と並行して実施する施設改修について、具体的な改修計画を策定し、順次改修を進める。
当年度目標	公益目的事業及び収益目的事業の両事業の充実を図り、増益を目指す。 具体的な施設改修計画を策定し、必要となる費用を確定するとともに、京都府とも協議しながら、改修資金の調達方法と京都市出えん率の引き下げの方針を定める。
当年度結果 (※)	決算は大幅な赤字となり、計画の見直しが必要となった。京都市、京都府と協議し新たな計画を策定する。

指標	一般正味財産期末残高 (単位：千円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	7,000		34,000		37,000		40,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	30,000	24,944	34,000	16,712	—	—	—	—

(3)組織に関する取組

目標「職員研修の充実」	
中期経営計画 における取組	京都市等が実施する研修会への参加と全職員への伝達研修と併せて、森林文化に係るインストラクターとしての資質向上や宿泊者及びイベント参加者への対応において必要な知識・資格の習得に努める。 また、職員は技術の習得と視野の拡大を図るため、年間を通じて固定した業務に就くのではなく、季節や業務の繁閑、技能の程度に応じて、臨機応変に配置換えを行うものとする。
当年度目標	京都市等が実施する研修会への参加と全職員への伝達研修ともに、森林文化に係るインストラクターとしての資質向上や宿泊者やイベント参加者への対応における必要な知識の習得について、協会独自の職員研修を実施すると共に、職員の資格取得に対する支援を行う。 Ⅰ 京都市等の研修会への参加 Ⅱ 協会独自の職員研修の実施 Ⅲ 資格取得に対する支援
当年度結果 (※)	Ⅰ 京都市等の研修会への参加 3回3名 Ⅱ 協会独自の職員研修の実施 1回 Ⅲ 資格取得に対する支援 2名

指標	研修への参加 (単位：回)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	3		3		3		3	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	3	3	3	5	—	—	—	—